◎講座参考資料　　令和３年４月２５日（日）　　　　天正寺　佐々木奘堂

◎横田南嶺老師ブログから　**【やおよろずの神々】**（令和3年３月31日）

私が初めて禅寺で坐禅をしたのが十歳の頃でした。臨済宗妙心寺派の**清閑院**（せいかんいん）というお寺の夏の坐禅会でありました。その頃、八月の一日から五日まで毎朝坐禅会がございました。最後の五日に、由良興国寺から目黒絶海老師がお越し下さって、提唱し独参を受けられていました。

そこで、私は初めて『無門関』という書物に触れることになりました。その『無門関』を読んだ時の感動は忘れられません。禅の漢文の独特の響きに心打たれました。詳しい意味は分からないのですが、心に響いたのでした。

それから、**目黒絶海老師**という方のお姿を拝見して、これもまた言葉にならない感動を覚えました。老師のたたずまい、風貌、仏前に焼香し恭しく礼拝されるお姿に感動したのでした。そのお姿を拝見して、**ここに真実の道がある**と、子供ながらに確信したのでした。当時拝聴した提唱の内容は、ほとんど覚えていません。

『無門関』の香厳上樹の公案であったことは覚えています。

**今も印象に残っている言葉が二つございます**。

一つは、その提唱を始める時に、目黒絶海老師は、手を合わせてみんなを見渡して、**今日ここにお集まりの皆さんは、みな仏様です**と言って拝まれたのでした。

もう一つは、**坐禅をすると、やおよろずの神々が身中に鎮座なさるのだ**という言葉でした。

「ここにお集まりの方はみんな仏様です」という言葉には驚いたものでした。

たしかに少しばかり坐禅をしたのですが、とても仏などというにはほど遠い状態です。

それなのになぜ仏だというのか、疑問に思いました。

疑問に思いながらも、こんなご立派な「老師」が仰せになるのですから、きっと深い意味があるのだろうと思ったのでした。

それから、もう一つ、**坐禅するとやおよろずの神々が、身中に鎮座する**との言葉にも感銘を受けました。

なんだか、坐禅というのは、とても神聖な素晴らしい行いなのだと感じたのでした。 （中略）

白隠禅師は、「**天神七代、地神五代、並びに八百万の神、悉く皆身中に鎭坐（ちんざ）ましませり。**」と仰せになっています。

そして白隠禅師は、**この神々をお祀りするには、禅定に入ることだとして、腰骨を立てて気を丹田に満たして、姿勢を正して坐って**、目に見るのも耳に聞こえるのも、そこに一点の妄想をまじえず、清らかになることだと説いています。

◎白隠禅師：　（第三夜）

第三夜示衆に曰く、如来の正法眼蔵、嫡々相承、是を伝灯の菩薩という。如来の正法眼蔵よく護持する、是を護法の菩薩と謂う。伝灯護法なお師家と壇越との如し。師檀合わざるときは大法独り行なわれず。而して護法を最上となす。昔、弘法大師嘗て大日如来に祈請して曰く、誰か是れ護法の最上なるや。如来告げて曰く、弁財天に若くはなしと。是れ伝灯は第一たりと雖も、若し護法の力なきときは則ち仏法只独り行わざる所以なり。是の故に護法を最上となす也。

**はにず**。**もしをてをえばちはちのなるものなり。はちのなるものなり。、、にの、くにせり。**

**かくのくのをせんとせば、にいわゆるのにずんばちをるわず。のはにずんばをるわず。**

**をし、をにたし、せよ**。

**のをえず、なるをるときはちこれをるなり**。のともそのしとなさず。

このにく、むべきのはぶべきのなり。めざるのはべきのなりと。るべし、むべし。

●原文　　第三夜示衆曰。如来正法眼蔵的的相承。是謂伝燈菩薩。如来正法眼蔵能護持。是謂護法菩薩。伝燈護法猶如師家與檀越。師檀不合。大法独不行。而護法為最上。昔弘法大師嘗祈請大日如来曰。誰是護法最上耶。如来告曰。無如弁才天。是雖伝燈為第一。若無護法之力。則所以佛法只独不行也。是故護法為最上也。

　又**坐禅通一切諸道**。若以神道言之。則身即天地小者也。天地即身大者也。天神七代。地神五代。並**八百万神、悉皆身中鎮坐矣**。如此欲祭祀鎮坐諸神者。神史所謂非霊宗神祭則不能祭之。霊宗神祭者。非**神定**則不能祭之也。**竪起脊梁骨、充気丹田、正身端坐**。眼見耳聞不雜一点妄想。獲六根清浄。則是祭天神地祇也。雖一炷坐。其功徳不為鮮矣。是故**道元禅師曰。可勤之一日。可貴之一日也。不勤之百年。可恨之百年也**。鳴呼可恐可慎。

・第一夜

**をしをして、ならしむべし。… 気をして丹田に満たしめよ。…**

**にらくをすべし。**

**竪起脊梁骨**。令身体斉整。… **令気満丹田**。…**直須要断命根**。

・第五夜

**はただののみ。をせよ。にを。**

参禅只但**勇猛一機**而已。**竪起脊梁骨**。…**終得断命根。**

・第七夜

**をして、せよ。に、としてす。**

**憤起大誓願、勇猛精進、直断命根、豁然法性現前。**

●語句

・「竪起脊梁骨」（３回）：１夜。３夜。５夜。

・「丹田」（２回）：１夜。３夜。　　　　　　・「勇猛」（６回）：５夜×４。６夜。７夜。

・「断命根」（３回）：１夜。５夜。７夜。　・「正身端坐」（１回）：３夜。

●（参考）白隠禅師の書いた『毒語心経』

**もしをぜざれば、してをるともげてす**。

**参究若未命根断　修歴三祇枉苦辛。**